

# 岩崎城だより

No.73

2026/7/1

## 館長のおはなし

令和八年の大河ドラマ「豊臣兄弟！」がスタートして半年が過ぎました。羽柴秀吉、秀長兄弟を軸に織田信長と信勝（信行）、足利義輝と義昭、また織田信長と浅井長政といった義兄弟も含め、戦国時代の兄弟関係という部分がクローズアップされています。

日進市の歴史において欠かすことができないのが丹羽氏次、氏重の兄弟です。少し年齢は離れていますが、兄氏次は岩崎城の四代目城主、弟氏重は傍示本城主（現東郷町）として、当地域を治めていました。天正十二年小牧・長久手の戦いが勃発すると氏次は岩崎城を弟の氏重に城代を任せ、軍勢の大半を率い、小牧山へ。この時若干十六歳の氏重は義理の兄にあたる長久手城主加藤景常（忠景）とともに岩崎城を守りますが、三河へ侵攻した羽柴軍の別動隊、池田恒興らの軍勢により落城。氏重も討ち死にしています。

岩崎城が落城したことを氏次が知るのは岩崎城の戦いと同時時間帯に起こった白山林の戦い（現尾張旭、守山区）で総崩れとなった三好軍を追い、細ヶ根（現長久手市）あたりに進軍したところとされます。氏重をはじめ家臣たちが討ち死したこと知った氏次は、大いに怒り、そして嘆きますが、戦場ということもありすぐに槍をとり、奮起したそうです。氏次と氏重の関係を直接示す資料はありませんが、若い氏重に傍示本という領地の重要な拠点を任せていること、そして岩崎城代を任せていることを考えると信頼できる、そして年の離れたかわいい弟だったのではないのでしょうか。ぜひ豊臣兄弟と合わせ丹羽兄弟も知っていただけますと幸いです。



「涼」いそはたみか

# イベント情報

## 「岩崎城 戦国丹羽まつり」

- ②7月5日(日)
- ③7月26日(日)
- ④8月30日(日)
- ⑤10月24日(土)

全5回、様々なイベントを通して、丹羽氏次・氏重兄弟の活躍、日進の戦国時代を体感してみませんか?多くの方のご参加をお待ちしております!

イベント詳細→



## 「岩崎城刀劇隊 ミニ剣術道場」

7月19日(日)  
11:00~/14:00~  
参加無料・雨天中止

岩崎城刀劇隊による剣術体験です。簡単な刀の扱い方、剣舞やポーズなどを練習します!参加回数で位が上がる「岩崎城侍大将への道」カードも配布しています。



## 「にわさきくん」

7月19日(日)  
11:00~/14:00~  
(15分程度)

にわさきくんがお出迎えます!出陣日にはキャラ印も頒布しています。ぜひにわさきくんに会いに来て下さい!一緒に写真撮影もしていただけます!



## 「岩崎城 みんなのぬり絵展」

【展示期間】  
8月2日(日)まで

みなさんにぬっていただいたぬり絵をお城に展示しています!岩崎城マスコットキャラクターや、岩崎城刀劇隊、丹羽家の家紋などのぬり絵がありますよ!



## 「岩崎城だより」

発行日 2026年7月1日(年4回発行)

編集・発行 岩崎城歴史記念館

〒470-0131

日進市岩崎町市場 67 番地

Tel 0561-73-8825

Fax 0561-74-0046

<http://www.mf.ccnw.ne.jp/iwasakiyo>



岩崎城 HP はコチラ

### ◆開館時間

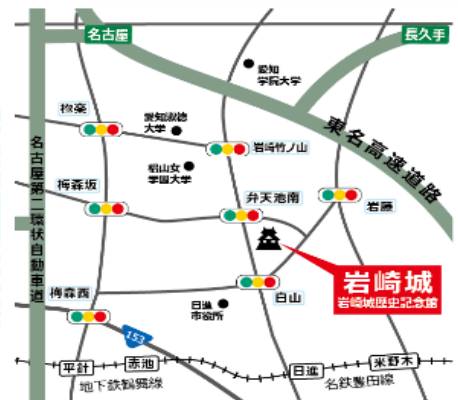
9:00~17:00

### ◆休館日

月曜日

(祝日の場合は開館)

12月28日~1月4日





岩崎城 夏の収蔵品展

# 岩崎城で出逢う。

～日進に眠る“モノ”たちの話～

■ 展示期間

8月8日(土)～10月4日(日)

■ 入場無料

■ 場所: 岩崎城歴史記念館 2階

第2回岩崎城歴史講座(夏の収蔵品展関連講座)

## 「日進に眠る“モノ”たちの話」

7月20日(月・祝)13時30分～15時

【募集】7月1日(水)9時～電話申込

【対象】どなたでも(日進市民、在学、在勤優先)【参加費】無料

岩崎城で出逢う。  
-日進に眠るモノたちの話-  
2026年8月8日(土)～10月4日(日)

岩崎城歴史記念館  
愛知県日進市岩崎町市場67番地  
tel.0561-73-8825  
受付時間: 9:00～17:00  
休館日: 日曜日(祝日の場合は別定)  
入場料: 無料

自分のオリジナル花押  
をのこしてあそぶ!  
お好きな色やデザインでオリジナルの花押をのこすことができます。  
お好きなお名前やメッセージも入れられます。  
お名前やメッセージは、お好きなようにお書きください。  
8月8日、15日、22日、29日  
11:00～15:00  
9月6日、13日、20日  
11:00～15:00



第40回 日進市菊花大会主催

# 菊づくり講習会

参加者募集 初心者大歓迎!

日進市菊花大会の実行委員が菊づくりの講習会を開催します。菊づくりの達人が丁寧に教えますので、初心者の方でもお気軽にご参加ください。第1回は菊の苗をポットから鉢へと植え替えます。第2回、第3回は菊の成長にあわせて植え替え、立派な大菊を育て上げるお手伝いをします。

日 程	第1回 5月30日(土) 10:00～
第2回 7月4日(土) 10:00～	
第3回 8月1日(土) 10:00～	
第4回 9月5日(土) 10:00～	
第5回 10月3日(土) 10:00～	

(全日受講できなくてもかまいません。)  
(日程は変更になる場合がございます。)

場 所 日進市 岩崎城址公園

参加費 無料 (ただし、「持ち物」に記載した道具は各自でご用意ください)

お申し込み 不要 当日現地へお越しください

定 員 各回50名(定員になり次第募集終了)

持 物 4号(5号でも可)の菊用鉢 (蒸焼き、プラスチックどちらでも)・霧手・スコップ・筆記用具 (菊苗はご用意いたします。)  
※1日目の持ち物です。2日目は別にお知らせ下さい。

お問い合わせ  
岩崎城歴史記念館 1470-0111  
愛知県日進市岩崎町市場67番地  
受付時間 9:00～17:00  
休 館 日 毎週月曜日(祝日の場合は別定) 岩崎城公式HP 菊花大会 Twitter

毎年秋に岩崎城址公園で開催している菊花大会。今年はなんと**第40回**の節目の大会となります。きれいな菊の花を咲かせるための準備が着々と進んでいます。

## 第1回菊づくり講習会のようす



5月30日(土)晴れ  
東屋に集まり、菊栽培に必要な道具、育て方のスケジュールなどの説明、がありました。

ポット苗の状態から4号鉢への植え替えが今回の目標です。菊花大会実行委員の方による実演もありました。肥料や防虫剤の入れ方、より元気に育つ工夫も教えていただきました。



### 今後の菊づくり講習会日程

第2回 7月4日(土)10:00～  
第3回 8月1日(土)10:00～  
第4回 9月5日(土)10:00～  
第5回 10月3日(土)10:00～

全日受講できなくても構いません。  
お気軽にご参加ください!



# にっしんの地名

## 第二回 赤池の「小字」

小字とは基本的には〇〇町などの下に来る地名

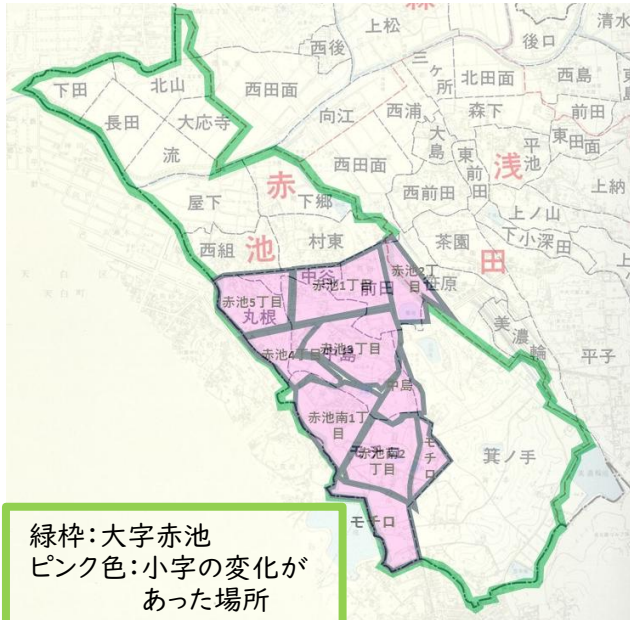


表1 赤池の小字の変化

平成元(1989)年	令和八(2026)年(現在)
下田(しもだ)	下田(しもだ)
長田(ちょうだ)	長田(ちょうだ)
北山(きたやま)	北山(きたやま)
大応寺(だいおうじ)	大応寺(だいおうじ)
流(ながれ)	流(ながれ)
屋下(やした)	屋下(やした)
下郷(しもごう)	下郷(しもごう)
村東(むらひがし)	村東(むらひがし)
西組(にしぐみ)	西組(にしぐみ)
中谷(なかに)	赤池1丁目 5丁目
前田(まえだ)	赤池1丁目 2丁目 3丁目
中島(なかしま)	赤池1丁目 3丁目 4丁目
丸根(まるね)	赤池4丁目 5丁目
モチロ	モチロ 赤池南1丁目 2丁目 赤池4丁目
箕ノ手	箕ノ手

緑枠:大字赤池  
ピンク色:小字の変化があった場所

日進誕生120年を記念し、今の日進に残る地名の秘密を紐解いていきます

表1より、大字

赤池の北側の小字に変化はありませんが、南側は区画整理なども進み、住所の変更がありました。中谷、前田、中島、丸根は平成6年に赤池一丁目から五丁目、モチロは平成20年から赤池南一丁目、二丁目、赤池四丁目となりました。特徴的な小字として大応寺があります。大応寺の寺は現在岩崎町にあります。大応寺は赤池にあったと考えられており、小字として地名のみが現在も残っています。

参考:日進市教育委員会「1989、「日進町の地名」

今回は第三回 浅田の地名です。

## 収蔵品紹介

### ◆羽柴秀吉書状◆

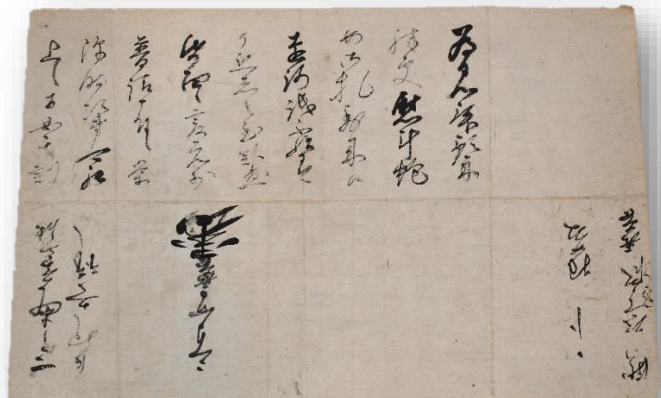
羽柴秀吉から瀧川彦二郎(忠征)

に宛てたお礼の書状です。文書の形式は折紙(※1)で、署名に「羽藤(羽柴藤吉郎秀吉の略)」とあることから、天正七年から天正九年の間に出されたと考えられています。

内容は見舞いの手紙を受け取ったこと、熨斗(おし)アワビが届いたことに対するお礼、秀吉は現在普請(ふしん)中で終わり次第そちらへ伺うこと、その時に詳しく話したいこと、が書かれています。

この時の秀吉は織田信長の家臣で中国攻めを行っていました。瀧川彦二郎は信長の家臣である瀧川一益の家老を務め、一益没落後は秀吉、徳川家康に仕え、最終的には初代尾張藩主の徳川義直の家老となった武将です。

この「羽柴秀吉書状」は夏の収蔵品展で展示予定です。



※1 折紙(おりがみ):紙を半分に折って書く形式のもの。折り目を下にして文字を書くので広げると上下逆さまになる。

り	と	ほ	は	い
ぬ	ち	へ	に	ろ
と	こ	ゝ	な	ひ
い	判	判	判	判